

## 特 長

### ■ 既設構造物への新設

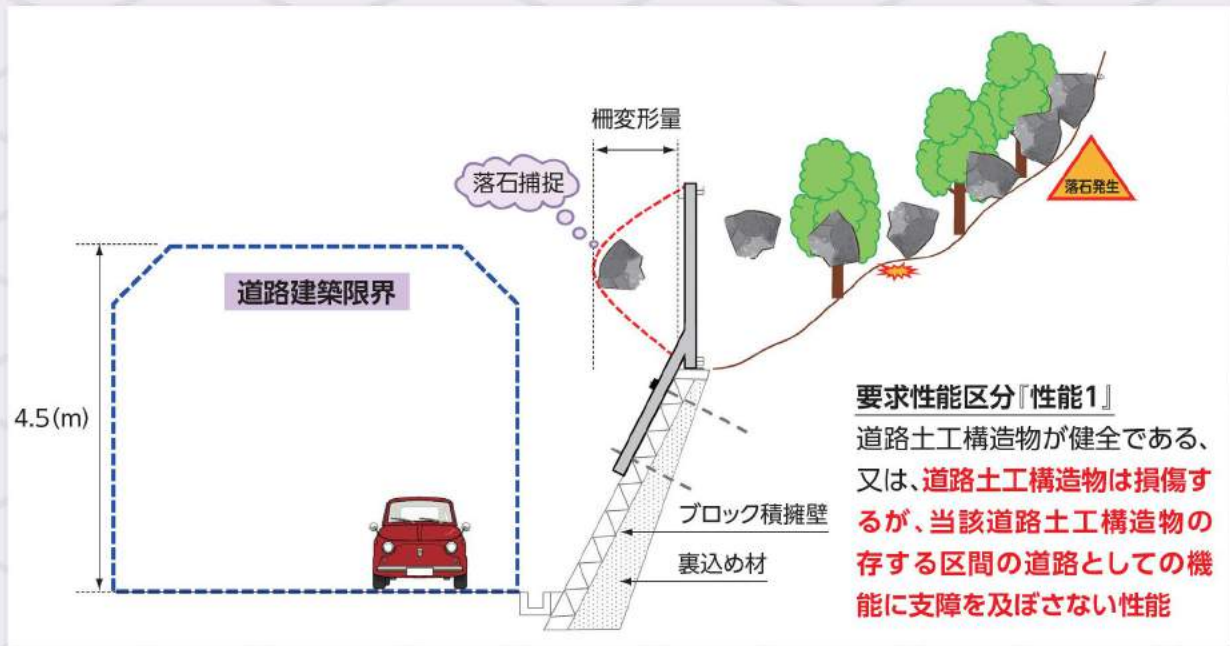
既設擁壁天端へ簡単に設置することが可能です。

また、設置の際に構造物の補強や嵩上げ等の処置も必要ありません。

### ■ 既設構造物の補強

山側の控えロープが不要で、既設構造物上に設置する構造であるため

既設コンクリート構造物やワイヤロープ式防護柵を活かしながら補強することが可能です。



### ■ 道路土工構造物技術基準における要求性能区分『性能1』に該当

落石の衝突エネルギー200kJまで対応することができるため、国土交通省道路局『道路土工構造物技術基準(平成27年3月)』における道路土工構造物の要求性能区分は『性能1』に該当します。

## 実物大実験

### ■ 実物大実験を中央・端末スパンにて実施し捕捉性能を確認しました。

実物大実験の結果、中間スパン衝突および端末スパン衝突ともに衝突エネルギー200kJを有する重錘を捕捉できることを確認しました。

#### 【実験状況】

- ・有効柵高：2.5m
- ・重錘質量：902kg
- ・柵延長：15.0m(5.0m×3スパン)
- ・重錘の衝突エネルギー：200kJ



中央スパン衝突実験状況



端末スパン衝突実験状況

## 部 材

### ■ 既設ブロック積擁壁に直接設置可能な「くの字」型支柱

支柱を「くの字」型にすることで、既設ブロック積擁壁を傷つけず容易に設置できます（特許申請中）。  
支柱は角型鋼管を主体としており、吹付砕工の場合も、枠上からの設置が可能です。

### ■ 二種類の特殊な衝撃緩衝装置

ブレーキリング …ロープに作用する張力を緩和し、スムーズなエネルギー吸収をサポートします。  
ゴム緩衝材 ……支柱と擁壁へかかる荷重を緩和します。

### ■ 異なる線径とメッシュ寸法のTECCO®ネットを重ね合わせた ネット二重構造の採用により、落石への耐貫通性能が向上



支柱設置状況



ブレーキリング



ゴム緩衝材



TECCO® ネット二重構造

## 維持管理

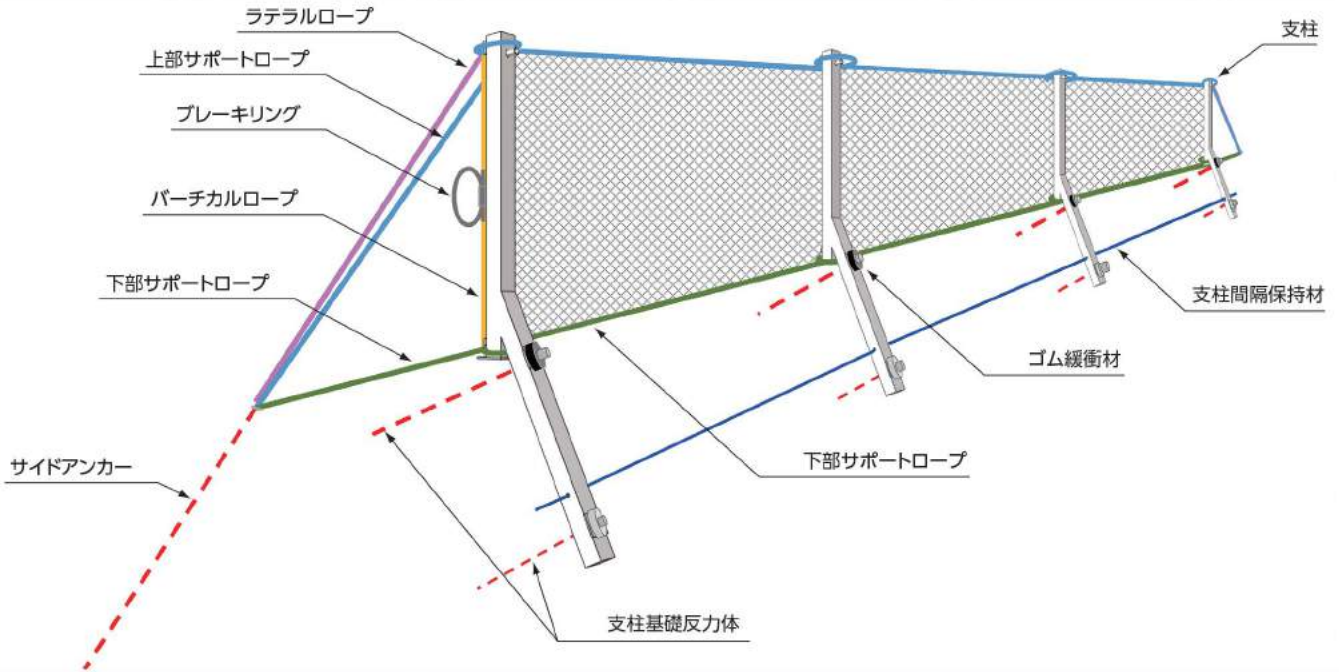
### ■ シンプルな柵構造であるため、落石捕捉後の部分交換が容易です。

ネットや支柱の取付け・交換が短期間かつ容易に行えます。



ネットの部分交換イメージ

# 構造



# 設置イメージ

設置前

設置後イメージ



既設防護柵の柵高および落石捕捉性能不足も補えます。

